

虫??キノコ??不思議な生き物 **冬虫夏草**

みなさんは「冬虫夏草」を知っていますか？冬は虫の姿で、夏になると

植物になるという、チベット語が名前の由来となっている「冬虫夏草」。

今回はそんな不思議な生き物を紹介します。



冬虫夏草、どんな生き物？

昆虫などに寄生して育つキノコのなかま（菌類）。

漢方薬として使われることもあります。世界で約

500種が発見され、日本ではそのうち約400種が見つかっています。

寄生する生物が他の生物の体表に付着または体内に侵入して、そこから栄養をとって生活すること。

冬虫夏草、どんな虫につくの？

宿主（冬虫夏草が寄生する宿となるもの）はク

モや菌類、植物などさまざまですが、ほとんどの

宿主は昆虫です。コガネムシなどの甲虫、チョウ、ハエ、ハチ、カメムシ、トンボ、セミなどに

多く見られます。また昆虫の成虫につくものや、

幼虫につくものがあります。

冬虫夏草、どんな場所にいる

冬虫夏草はコケが生える沢沿いなど湿った場所に

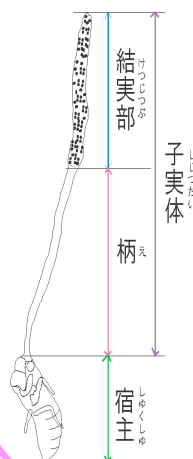
多くみられます。冬虫夏草がたくさん観察でき

る時期は、梅雨を中心とした季節です。宿主と

なる昆虫の種類によって地面や落葉の上、木の

枝、くちた木などで見つけることができます。

冬虫夏草、どんなかたち？



宿主となる昆虫から子実体をのばし、その先に胞子をつけます。結実部の形は先が枝分かれしているものや丸くなっているもの、とがっているものなどさまざまです。この形やどんな虫についているかといったことから、種類を見分けることができます。

セミタケのようす

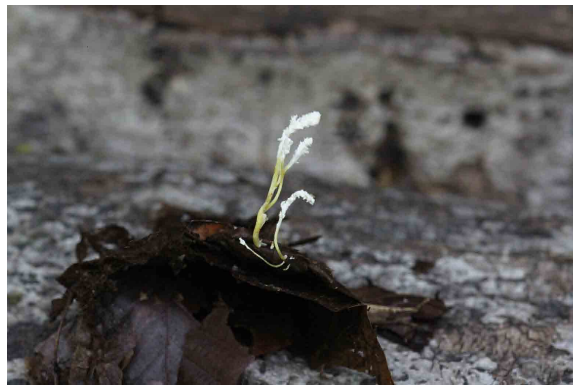
参考：冬虫夏草生態図鑑 日本冬虫夏草の会編著



とうちゅう か そう
 いろいろな冬虫夏草



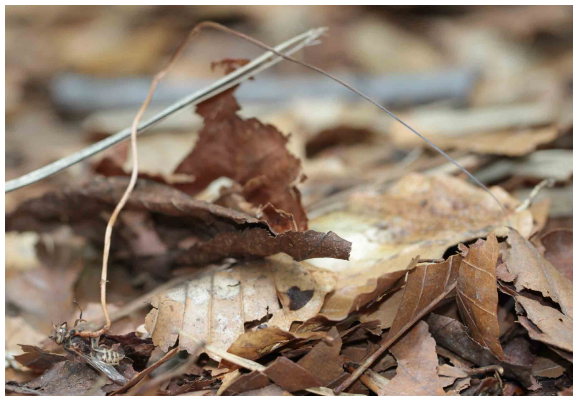
カメムシタケ



ハナサナギタケ



オサムシタケ



ツキヌキハチタケ



ヤンマタケ

冬虫夏草が出てくるときには宿主は死んでしまっていますが、いつ宿主に寄生するのか、またどのように宿主の中で広がり成長するのかなど、多くの謎が残されています。

